

年 組 名前：

問1

視覚障害がある歩行者らに、
信号機の色をスマホで案内する
信号機は現在、いくつかの都県で
導入されていますか。

「 都県 」

問2

山梨県内にも導入予定の
信号機は、近づくと、青になった
ことなどをスマホの「A」、「B」、
「C」で伝える仕組みです。
スマホ画面を長押しすれば
「D」を延長する機能もあります。
A～Dに入る言葉は何ですか。

A 「 」

B 「 」

C 「 」

D 「 」

問3

視覚障害のある人が、生活したり、出歩くことをサポートするため、ほかにどのようなものがありますか。○を付けてください。

「 」 補聴器 「 」 歩道の点字ブロック 「 」 手話

「 」 盲導犬 「 」 音声パソコン

音や震動で 信号の色 スマホで案内

視覚障害がある歩行者らが持つスマートフォンと連動して信号機の色を伝える新型信号機が、山梨県内の一部交差点で導入されることになりました。信号機に近距離無線通信の機器を設置し、青、赤、青点滅の情報を発信。スマホに専用アプリをダウンロードして起動しておく、対応する信号機に近づいたときに音声で「青になりました」などと案内し、振動や画面表示で伝える仕組みです。

スマホ画面を長押しすれば、歩行者信号機の青色の時間を延長する機能もあります。県は視覚障害者団体から意見を聞き、モデル交差点を決めます。東京、静岡、宮城など7都県で導入されているといいます。



(2021年7月8日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)